

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

Cyber-shot



DSC-W810

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

→ 裏面もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら

- 電源を切る
- 電池をはす
- 相談窓口に連絡する

裏面に相談窓口の連絡先があります。

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- 1 すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- 2 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- 3 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- 4 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

火災

感電

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

フラグをコンセントから抜く

指示

もっと詳しく知りたい(ヘルプガイド)

「ヘルプガイド」はオンラインで見えるマニュアルです。さらに詳しい使いかたを知りたいときにご覧ください。

- 1 サポートページにアクセスする。
http://www.sony.jp/support/manual_dsc.html

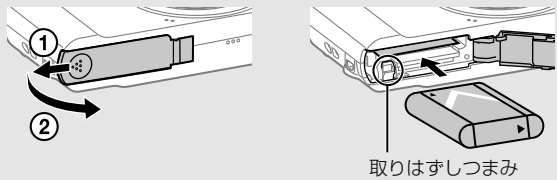
- 2 サイト内で本機の型名を探して「ヘルプガイド」(HTML)を開く。
 - 型名は本機の底面をご覧ください。

付属品を確認する

- ()内の数字は個数です。
- リチャージャブルバッテリーパックNP-BN (1)
(NP-BN1同梱サイバーショット™ではご使用になれません。)
 - 専用USBケーブル(1)
 - ACアダプター AC-UB10C (1)
 - リストストラップ(1)
 - 取扱説明書(本書)(1)
 - 保証書(1)

使いかた

バッテリーを入れる

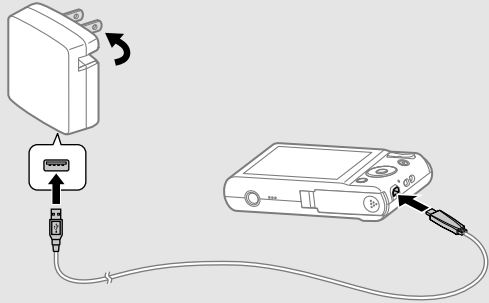


1 カバーを開ける。

2 バッテリーを入れる。

バッテリーを充電する

充電は本機の電源を切った状態で行ってください。



1 本機とACアダプター (付属)を専用USBケーブル(付属)でつなぐ。

2 ACアダプターをコンセントに差し込む。

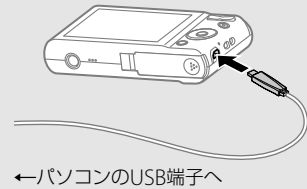
- 付属のACアダプターを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属の専用USBケーブル、ACアダプターをお使いください。

充電にかかる時間(満充電)

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約115分です。

パソコンに接続して充電する

専用USBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。

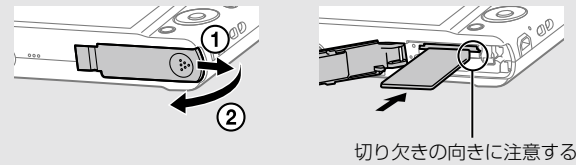


バッテリーの使用時間と撮影／再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約100分	約200枚
実動画撮影	約30分	—
連続動画撮影	約100分	—
静止画再生	約180分	約3600枚

- 数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
(CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)

メモリーカード(別売)を入れる



1 カバーを開ける。

2 メモリーカード(別売)を入れる。

メモリーカード／バッテリーを取り出す

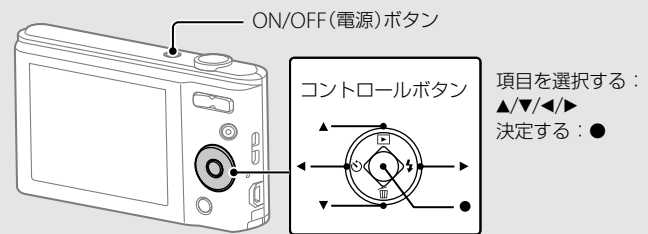
メモリーカード：メモリーカードを押してください。
バッテリー：取りはずしつまみを押し下げます。バッテリーが落下しないように注意してください。

使用できるメモリーカード

対応メモリーカード	静止画	動画
メモリスティック XC-HG デュオ™	○	○
メモリスティック PRO デュオ™	○	○(Mark2のみ)
メモリスティック PRO-HG デュオ™	○	○
メモリスティック マイクロ™(M2)	○	○(Mark2のみ)
SDメモリーカード	○	○(Class 4以上)
SDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)
SDXCメモリーカード	○	○(Class 4以上)
microSD メモリーカード	○	○(Class 4以上)
microSDHC メモリーカード	○	○(Class 4以上)
microSDXC メモリーカード	○	○(Class 4以上)

- メモリスティック マイクロ、microSD メモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

日付と時刻を設定する



1 ON/OFF (電源)ボタンを押す。

2 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、コントロールボタンの中央の●を押す。

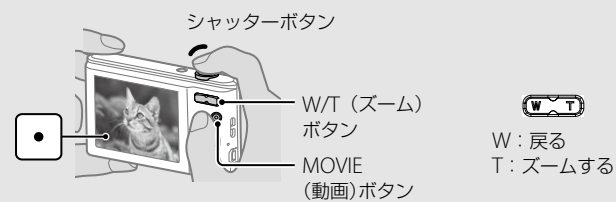
3 [表示形式]、[サマータイム]、[日時]を設定して[OK]を押す。

4 モニターの指示に従って操作する。

日付と時刻を合わせ直す

MENU→ (設定) → (時計設定) → [日時設定]を選び、日付設定画面を開いてください。

撮影する



静止画を撮る

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

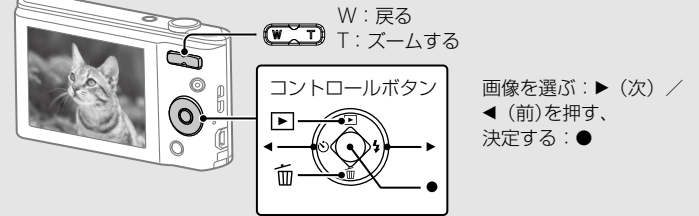
2 シャッターボタンを深く押し込む。

動画を撮る

1 MOVIE (動画)ボタンを押して、撮影を開始する。

2 もう一度MOVIEボタンを押して、終了する。

見る



1 コントロールボタンの (再生)を押す。

次の画像／前の画像を選ぶ

コントロールボタンの (次) / (前)を押す。
動画を再生するには、コントロールボタン中央の●を押してください。

削除する

- 1 コントロールボタンの (削除)を押す。
- 2 コントロールボタンの で[この画像]を選び中央の●を押す。

ソフトウェアPlayMemories Home™でできること



PlayMemories Homeをダウンロードする

PlayMemories Homeは、以下のURLよりダウンロードできます。
www.sony.net/pm/

- Mac用アプリケーションについては、以下のURLをご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/imssoft/Mac/>

パソコンの推奨環境

ソフトウェアのパソコン環境は以下のURLよりご確認いただけます。
www.sony.net/pcenv/



使用上のご注意

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

メモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、メモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成します。次の操作まで時間がかかることがあります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出ところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布等で清掃してください。

モニターについてのご注意

モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなりますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

バッテリーの保管方法について

本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

- 「ヘルプガイド」(HTML)を参照し、本機を点検する。
- バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。
- 設定リセットをする。
- サイバースhotsオフィシャルWEBサイトで確認する。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/
- 相談窓口にて電話で問い合わせる。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”を参考にして故障がどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.76 mm (1/2.3型) CCD原色フィルター
総画素数：約2040万画素
カメラ有効画素数：約2010万画素
レンズ：6倍ズームレンズ
f=4.6 mm ～ 27.6 mm
(26 mm ～ 156 mm (35 mmフィルム換算値))、F3.5 (W) ～ F6.5 (T)
動画撮影時(16：9)：32 mm ～ 189 mm
動画撮影時(4：3)：26 mm ～ 156 mm

手ブレ補正：電子式
連写(最大画素数時)：約0.52枚/秒(100枚まで)
記録方式：

静止画記録方式：JPEG (DCF、Exif、MPF Baseline)準拠、DPOF対応
動画記録方式：AVI (Motion JPEG)

記録メディア：内蔵メモリー (約29MB)、メモリスティック PRO デュオ、SDカード、メモリスティック マイクロ、microSD メモリーカード

フラッシュ：撮影範囲(ISO感度(推奨露光指数)がオートの時)
約0.4 m～3.2 m (W) /約1 m～1.74 m (T)

[入出力端子]

USB / A/V OUT端子：

映像出力

音声出力

USB通信

USB通信：Hi-Speed USB (USB 2.0)

[モニター]

液晶モニター：6.7 cm (2.7型)、TFT駆動
総ドット数：230 400 ドット

[電源・その他]

電源：リチャージブルバッテリーパックNP-BN、3.6 V
ACアダプター AC-UB10C、5 V

消費電力(撮影時)：約1.0W

動作温度：0℃～40℃

保存温度：－20℃～＋60℃

外形寸法(CIPA準拠)：96.8 mm×55.5 mm×20.9 mm (幅×高さ×奥行き)

本体質量(CIPA準拠)(バッテリー NP-BN、メモリスティック PRO デュオを含む)：約127 g

マイクロホン：モノラル

スピーカー：モノラル

Exif Print：対応

PRINT Image Matching III：対応

ACアダプター AC-UB10C

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz、70 mA

定格出力：DC 5 V、0.5 A

動作温度：0℃～40℃

保存温度：－20℃～＋60℃

外形寸法：約50 mm×22 mm×54 mm (幅×高さ×奥行き)

リチャージャブルバッテリーパックNP-BN

使用電池：リチウムイオン電池

最大電圧：DC 4.2 V

公称電圧：DC 3.6 V

容量：2.3 Wh (630 mAh)

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。










商標について



- Microsoft、Windows、Windows Vistalは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、Pentium、Intel CoreはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- Facebook、"f" ロゴはFacebook、Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、 Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。

安全のために


→ 表面もあわせてお読みください。







警告
火災
感電
下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない	
火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。	分解禁止
内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない	
火災、感電の原因となります。万ー、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。	禁止
運転中に使用しない	
自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。	禁止
撮影時は周囲の状況に注意をほう	
周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。	禁止
指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない	
火災やけがの原因となることがあります。	禁止
機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない	
電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万ー飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。	禁止
電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付け	
正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。	指示
電源コードを傷つけない	
熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。	禁止
可燃性／爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない	
	禁止

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない	
<ul style="list-style-type: none">至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。 運転中に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。	禁止
長時間、同じ持ち方で使用しない。	
使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合は特にご注意ください、三脚などをご利用ください。	禁止
<ul style="list-style-type: none">気温の高い環境でご使用になる場合。 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。	

注意 火災 感電 下記の注意事項を守らないと、 けがや財産に損害 を与えることがあります。	
水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない	禁止
火災や感電の原因になることがあります。	
ぬれた手で使用しない	
感電の原因になることがあります。	ぬれ手禁止
不安定な場所に置かない	
ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。	禁止
コード類は正しく配置する	
電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。	指示
通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない	
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。	禁止
使用中は機器を布で覆ったりしない	
熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。	禁止
長期間使用しないときは、電源をはすす	
長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。	フラグをコンセントから抜く
フラッシュの発光部を手でさわらない	
フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。	禁止
レンズやモニターに衝撃を与えない	
レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。	禁止
電池や付属品、メモリーカード、アクセサリなどを取りはずすときは、手をそえる	
電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。	指示

	危険 電池についての安全上のご注意とお願い	漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。
--	-------------------------------	---

	<ul style="list-style-type: none">乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。	
	<ul style="list-style-type: none">電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。 アルカリ電池／ニッケルマンガン電池は充電しない。 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。	
	<ul style="list-style-type: none">電池は、＋、－を確かめ、正しく入れる。 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。	

お願い	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。
	<div> <div></div> <div> Li-ion リチウムイオン電池 </div> </div>
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

サイバースhotsの最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>



ソフトウェアのサポート情報

http://www.sony.co.jp/support-disoft/

サイバースhotsオフィシャルWEBサイト

http://www.sony.jp/cyber-shot/
サイバースhotsの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する情報を掲載しています。
英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ………… 0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ………… 050-3754-9577	フリーダイヤル ………… 0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ………… 050-3754-9599 ※ 取扱説明書等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
↓	
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」＋「#」(本機や付属品)「404」＋「#」(ソフトウェア PlayMemories Home)を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。	

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/